

研究課題名「理学療法臨床実習におけるステークホルダーが認識する教育内容の比較」に関する情報公開

1. 研究の対象

理学療法士養成校に在籍する教員、理学療法士養成校に在籍する学生、臨床実習施設に在籍する理学療法士のいずれかに該当し、かつ Google フォームによるオンライン質問票に回答が可能な方のうち、本研究に参加し、回答された方を研究の対象としています。

2. 研究目的・方法・研究期間

研究目的：

理学療法臨床実習において、教員、学生、臨床実習指導者がそれぞれ重要だと考える教育内容を比較し、三者間に存在する認識の乖離を明らかにすることを目的としています。さらに、修正 Delphi 法により、教員、学生、臨床実習指導者の各専門家パネルから合意形成が得られた教育内容を抽出し、その結果を後続研究の大規模アンケート調査に反映させることで、後続研究の結果及び有用性を高めることを目的としています。

研究方法：

①研究デザイン

横断研究

②目標対象者数

理学療法士養成校に在籍する教員・理学療法士養成校に在籍する学生・臨床実習施設に在籍する理学療法士から、各 20 名ずつとします。

③症例数設定根拠

先行研究を基に、目標対象者数を設定しました。

修正 Delphi 法における推奨パネル規模は一律ではないものの、代表的なガイドラインでは 10～18 名を至適範囲とし、実務的な観点からは 15～30 名が一般的と報告されています。また、リハビリテーション領域の研究においても 15～18 名が目安と報告されています。これらの知見を総合し、先行研究が示す範囲に収めつつ、専門性と多様性を確保し、安定した合意形成を図る為に、本研究は目標対象者数を各 20 名に設定しました。

④収集情報とその方法

〈主要な情報〉

理学療法臨床実習における教員・学生・臨床実習指導者が重要だと考える教育内容

〈その他の情報〉

基本情報

教員/学生/臨床実習指導者：年齢、性別

教員：職業、所属（大学/専門学校）、経験年数※1、専門領域

学生：所属（大学/専門学校）、学年、国家資格取得の有無

臨床実習指導者：臨床経験年数※2、専門領域

※1：理学療法士養成校において、教員として従事した通算年数とします。なお、産休等の長期休暇は経験年数には含めないものとします。

※2：産休等の長期休暇は、臨床経験年数には含めないものとします。

⑤情報の収集方法

Google 社が提供する Google フォームを使用し、オンライン質問紙調査での横断研究を実施します。対象者の募集にあたっては、機縁法にて、研究責任者または研究分担者と面識がある教員、学生、理学療法士に対し、研究の趣旨を文書で説明し、研究協力の同意を得ます。また、研究協力の同意を得られた教員が所属する学生に対し、当該教員を通じて研究協力を依頼し、同意を得ます。包含基準に含まれる対象者にオンライン質問票を送付し、回答を募ります。

⑥統計・分析方法

本研究は、オンライン質問票の回答形式に 5 段階リッカート尺度を使用します。1：全くそう思わない、2：あまりそう思わない、3：どちらとも言えない、4：そう思う、5：とてもそう思う、と定義します。解析にあたっては、【4：そう思う】【5：とてもそう思う】を肯定的回答とし、当該選択肢を選択した参加者が 70%以上に達した場合に、合意形成が得られたと判定します。この合意判定の過程は最大 3 回繰り返し、逐次的に各専門家パネルの意見集約を図ります。

⑦予想される結果

教員、学生、臨床実習指導者の三者間で、理学療法臨床実習において重要だと考える教育内容に乖離があると考えています。

研究期間：実施承認日 ～ 2027 年 3 月 31 日

3. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて対象者の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも対象者に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：名古屋大学医学系研究科総合保健学専攻
予防・リハビリテーション科学
教授 内山 靖

〒461-8673 名古屋市東区大幸南 1-1-20

TEL：052-719-3155 メールアドレス：uchiyama@met.nagoya-u.ac.jp